

福岡県

団体部門

ふくおかしよくいくけんこうとし ちいききょうぎかい
福岡食育健康都市づくり地域協議会

食の生産地を繋ぐファーマーズマーケット



(3,200名の来客でにぎわうイベント会場)



(子ども達のおつかいチャレンジを幼児教育を学ぶ学生がサポート)

取組概要

- 大学を事務局に、経済団体や各種企業、県・市が連携した産官学による協議会を設立し取組を実施。
- 中村学園大学を会場に同イベントを開催。高校生ボランティアによる商品PRや販売サポートを行い、出店者や来場者との交流の機会を創出。
- 学生運営のワークショップでは、小さな子どもが一人でお使い体験に挑戦するなど教育的エンタテインメントの要素を取り入れ、食育活動を展開。

活動成果

- R5年度は約3,200名が来場。県産品活用を中心とした都市部と過疎地の人的・物的交流に取組み、産品魅力や農業理解の輪を形成。
- 物販の際には生産方法や調理法、栄養学の情報等を提供したり、学生たちが業態研究を行いそれを発表することで食育にも寄与。
- 運営側に高校生・大学生を加えることで主体的に「食」についての学びの機会を創出している。

個人部門

たちばな たみお
立花 民雄

橘香園の里山保全とささやかな経済活動



(柳川藩主15代が開いた歴史ある
みかん園で手入れ中の立花氏)



(マーマレード、ジュースなど。農産
加工にも取り組む)

取組概要

- 民営農事試験場として明治20年に設立された柳川立花家農事試験場の取組を起源とする活動。
- 「宮川早生みかん」の発見普及を担った園場の歴史的保全、段々畑の復元、一般開放を目指し取組を実施。
- キャンプ施設、体験農園としての取組のほか地域課題である竹林の整備等のボランティア活動の場として農園を活用。

活動成果

- 農産加工にも取組み、マーマレードは英国アワードで金賞を受賞。
- 農園への来客はコロナ前には7千名を超える。今後は園主のサービス業の経験を活かしたアクティビティの充実を図っていきたい。
- 歴史ある園地は、映画やCMロケ地としても好評。情報発信の役割を担っている。

団体部門

やめでんとうほんぎよくろすいしんきょうぎかい

八女伝統本玉露推進協議会

日本茶の最高峰「八女伝統本玉露」を世界へ



(ニューヨークでのイベント参加、
香港でのプレゼンを実施)



(「YAME」ブランドでのボトリングティー商品)

取組概要

- 八女茶は全国茶品評会玉露の部において24年連続産地賞を受賞するなど最高品質のお茶である一方、他産地におくれを取る知名度向上に向け、ブランド化と価格向上に取り組む。
- 世界でもっとも星を持つとされる料理人ジョエル・ロブション氏と包括契約を結びコラボ商品を開発。
- 品質が高い故に扱いが難しい八女伝統玉露についてワイン形状のボトリングティーを開発。

活動成果

- 協議会の取組として「八女伝統本玉露」として玉露では国唯一のGI認証を取得。
- ロブションが認めた「世界に誇れる日本茶」として海外展開。地名がブランドとなるシャンパーニュのようにYAMEブランドで海外向け通販サイトの取組や国内外レストランへの販売を展開。
- 取組により荒茶単価は向上。今後栽培農家や面積の維持につなげていきたい。

ひさみつ ひさこ
久光 壽子

七夕の里でつながる出会い、育む地域の未来



(苔玉栽培施設で自慢の「苔玉・和の寄せ植え」に笑顔の久光氏)



(「星の出会い展」での苔玉ワークショップ)

取組概要

- 苗木生産の際の規格外苗を活用し「苔玉・和の寄せ植え」を制作。
- 「苔玉」には3年の製作期間を要し里山を再現。百貨店等の催事で販売するほか旅館等へレンタル。
- 市内にある神社にちなみ小郡市が進める「七夕の里」の町づくりとコラボした工芸品・装飾品を持ち寄る「星のあい展」を開催。

活動成果

- 「星の出会い展」の取組は20年目となり、会場には600名を超える来場者となった。
- 「苔玉」の売上はR元年度の100万円からR5年度には2.5倍増となった。
- 食品衛生法改正により製造ができなくなった農家お手製の漬物の技術と伝統を継承するための加工施設を整備し、新たな取組に挑戦しながら地域の魅力発信に取組みたい。

たからかぶしきがいしゃ

うきはの宝株式会社

「ばあちゃんビジネス」75歳以上のばあちゃんたちが働く会社

“ばあちゃんビジネス”うきはの宝株式会社が
グッドデザイン賞 BEST100
を受賞しました



GOOD DESIGN AWARD 2024
BEST 100

2024/10/16

(2024グッドデザイン賞ベスト100に選ばれる)



(高齢者活躍の取組として海外研究者も注目)

取組概要

- 「75歳以上のおばあちゃんたちが働く会社」(スタッフ18名中12名が高齢者)。ばあちゃんたちの得意を活かした「食」と「料理」で生きがいと収入を創出。
- 若手スタッフ(6名)がマーケティングや動画、SNS対応。世代の特性に応じた取組みで主役のばーちゃんをサポート。
- コロナ禍において通販を強化したところ、ばあちゃんが作る手作り食品が話題となり売上を拡大。

活動成果

- 月間紙「ばあちゃん新聞」を創刊し、100社以上のメディアから紹介され話題。
- 経験を踏まえた、高齢者の就労のコンサルティング業務では、全国各地の地域活性化に貢献。併せて、各地域の「ばあちゃん特産品」等のネット販売にも取組む。
- 世界に先駆け高齢化が進む日本における高齢者活躍の事例として米スタンフォード大学ほか国内外研究において注目。

団体部門

みなみはたちいきかせいかきょうぎかい

南畑地域活性化協議会

めざせ！小学校廃校危機からの脱出



（市内外から1,600人前後が参加する南畑美術散歩）



（移動販売車は、物品販売のほか地域内高齢者の見守り活動でも活躍）

取組概要

- 廃校の危機感から区長達が連携して活性化の取組を開始。
- 移住した芸術家を核に工房めぐり等、地域の魅力を発信するイベントを実施。
- 耕作放棄地に市の木「やまもも」の植樹にとりくみ、収穫した果実によるジュースやジャムの販売で認知度向上に寄与。

活動成果

- 市内人口が減少を続ける中、中山間地である南畑地区では直近4年減少に歯止めがかかる（微増）状況。
- 危機感の発端であった児童数はR元年度74名からR5年度101名にまで増加。
- 南畑美術散歩や6次化商品が、たんなるイベントではなく南畑のブランド化に寄与していると実感している。

団体部門

ゆうげんがいしゃ 有限会社
 こばやし 小林きのこ産業
 さんぎょう

守ろう×大莞の宝×子供達につなげ



(女性活躍の為の経営改革)



(6次産業化に向けて加工品を販売)

取組概要

- えのきを使った茶、クッキー、ごぶ漬け、佃煮、べんりジュレ等を加工・販売。
- 家庭と仕事を両立できるための産前産後・育児の休業制度、退職金制度、また子育て後の再雇用パートから正社員への登用など、ライフステージと希望に応じた女性が働きやすい環境を整備。
- 地域の祭りでの外国人実習生による綿菓子の無料提供は、子供たちの笑顔とともに祭りの盛り上げに貢献。

活動成果

- 大木町におけるきのこ栽培の先駆けとして、種菌を培養する種菌センターの設立により、町内16事業者まで生産が拡大し、産地の形成に至る。
- 企業理念である「三者満足」を目指し消費者、社員、経営者が満足する取組を実践。
- 社会貢献活動として登校見守隊に参加。FCOP工場見学や福岡農業女性の会の視察など域外からの関心も高い。